

岡山県立和気閑谷高校第1回学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

日時 令和元年12月23日（月）13:30～15:30 場所 岡山県立和気閑谷高等学校管理棟3階会議室

1 開会・趣旨説明（校長）

前身の魅力化推進協議会では18名だった委員を15名に変更した。県通知に「対象学校の校長は法および規則に定められている対象学校の教育課程の編成、経営計画に関する事項、組織編制に関する事項、および予算執行に関する事項について基本的な方針を作成し、協議会の承認を得なければならない」とある。本日は教育課程と職員の任用について協議し、経営計画と予算編成は次回協議する。

2 委員紹介（委員15名のうち、PTA会長は副会長が代理出席）

3 会長・副会長の選出

草加委員（和気町長）を会長、田原委員（備前市長）と友實委員（赤磐市長）を副会長とする。

4 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」の進捗報告

全体、小中高接続部会、産学官連携部会、高大接続部会の取組について説明

5 協議（グループ協議）

(1) 教育課程について（全体説明、グループ協議、意見共有）

新学習指導要領の施行に合わせて現在検討中の8つの類型について協議

【主な意見】

- ・理系文系は徹底した教科指導、他6つの類型は人間力をつける指導をするのがよい。
- ・学んだことを社会で活かすのが学問であるという閑谷学校の学びを反映させたい。
- ・小学校からのつながりがあるとよい。
- ・単純でわかりやすいカリキュラムがよい。
- ・地域との密着を生かしてほしい。
- ・これを達成するためにこのようにしているという理念をしっかりと持つことが必要だ。
- ・本校の歴史を顧みて、特別進学クラスをつくってはどうか。
- ・本校の特色をどこに出そうとしているか見えない。先を見据えた話のカリキュラムになっているのか。中学生が見て魅力があるのか。
- ・1年秋に類型を決定するのが難しい。
- ・赤磐・備前から見ての魅力を出す必要がある。資格取得や中学校の先生の勧めがあればよい。

(2) 教育課程を実現するための人事について（全体説明、グループ協議、意見共有）

上記の教育課程を実現するために必要な人材について協議

【主な意見】

- ・情報の教員が不足するのではないか。
- ・今の流れを絶やさないと人事が重要。校長再任用はどうか。
- ・ユネスコや閑谷學を指導できる教員、地域との協働を特化して担当する人材、全国募集を活用できる人材が必要。
- ・普通科の管理職と専門科の管理職の両方がいた方がよいのではないか。

6 事務連絡

(1) 今後の予定について（第2回学校運営協議会を2月または3月に開催予定）

(2) その他

ア 議事録について イ 障がい者野球のユニフォームスポンサーについて

7 閉会